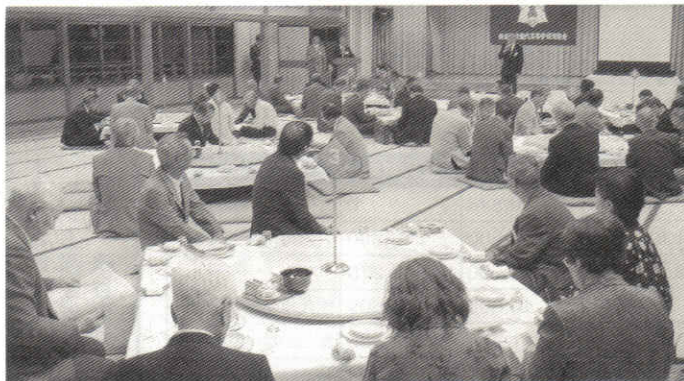


平成十八年度

# 同窓会総会報告

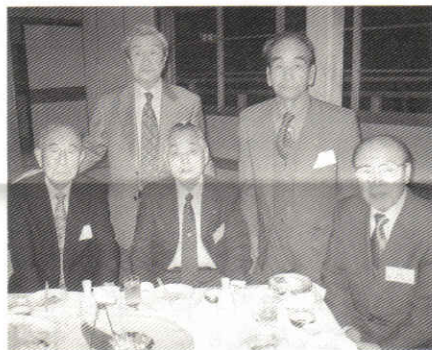


の開設に尽力された小林勝平氏(三十三期)が、会場に設けたプロジェクトでホームページの内容を詳細に紹介されました。出席者はその内容の豊富さや多様さに感嘆の声をあげていました。

懇親会は、当番幹事三十六期の中田雅俊氏の進行で行われました。校歌斉唱の後、来賓を代表して能代市教育長神馬郁朗氏(市長代理)の挨拶があり、硬式野球部への今後の期待などを話されました。宴会の中で、多数参加の二十四期(五名)、二十六期(五名)二十九期(六名)三十期(五名)三十三期(七名)の方々に「東雲羊羹」が贈られました。

万歳三唱の音頭は、遠来の東京同窓会会長・太田勝治氏(二十九期)に取ってもらい、和気藹藹のうちに懇親会は終了し、再会を約し各人が家路に着きました。

平成十八年度同窓会総会が九月二十二日(金)、例年のおとし料亭「金勇」で八十名が出席し行われました。田中仁純会長、井上高廣校長の挨拶の後、議事に入り、会務報告、会計決算報告がなされ、平成十八年度予算案の提案があり、それぞれ承認されました。議事の中で同窓会ホームページの開設の経過と同窓会活動活性化のための女性幹事選出について田中会長から説明がありました。本年度は役員改選があり、選考委員会から新役員が推薦され、満場の拍手で承認されました。選考委員会の合い間にこれまでホームページ



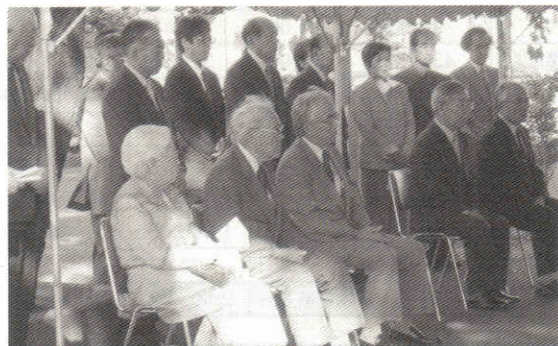
## 同窓会新役員

顧問	佐々木	満(15期)
会長	田中仁	純(25期)
副会長	浅田嘉美	(17期)
	続田隆	(21期)
	柴田郁	(24期)
	工藤茂宣	(30期)
監査		
	山田孝行	(32期)
	佐藤浩嗣	(30期)
	飯坂悦彦	(35期)
	柴田寛彦	(37期)
	大坂昇一	(23期)
	小林平	(33期)
	塚本恵子	(42期)

## 「青春の碑」修祓式開催

創立八十周年記念事業の一環として、昭和五十七年に十九期生を中心とした同窓生の発案により建立された「青春の碑」(旧校舍跡地)の改修を行いました。その修祓式が平成十八年九月二十二日(金)、同窓会総会に先立ち午後三時より現地、能代市文化会館前で行われました。八幡神社、淳城英夫神主

(三十八期)のお払いの後、玉串を奉奠し、田中仁純会長、同窓会顧問、佐々木満氏、井上高廣能代高校長からご挨拶をいただきました。同碑の揮毫をされた佐々木氏はそのお話しの中で、「青春の碑」に託された母校への熱い思いを語られ、旧制中学時代のなつかしい出来事を回顧されておりました。最後に



一同校歌を高らかに斉唱し式を終えました。

秋晴れの下、参会者は能代高校史の一ページに足跡を残すことになりました。



## 青春の碑

此处、榑子山は秋田県立能代高等学校誕生の地である。大正十四年(一九二五年)の創立から昭和四十九年(一九七四年)高城の地に新校舎が移転するまで、厳しい戦争を挟んだ激動の五十年間、創立時の能代中学校から、能代南高校、そして能代高校と校名を変え、同窓生約一万二千名の血潮たぎる思い出の場所である。昭和五十七年(一九八二年)「多感な青春時代を過ごした思い出深い学び舎の地を何らかの形で残そう」と十九期生中心の発案により同窓会がこの碑を建立した。揮毫は十五期生元参議院議員佐々木満氏である。爾来二十五年、平成十七年(二〇〇五年)母校は創立八十周年を迎えた。榑子山には能代市の誇り高い文化の殿堂が聳え輝いている。「文武両道」を校是とし、校訓「至誠力行」を掲げ、さらなる発展の途にある母校、校歌の一節「平和の相(すがた) 榑子山」は不滅であり、語り高い心ふるさとである。ここに創立八十周年を記念して、外柵及び碑文を構築し環境の整備を進め、その存在を意義あらしめ母校のさらなる躍進を期するものである。

平成十八年九月吉日

秋田県立能代高等学校同窓会